

◀ 展示報告 ▶

第85回企画展 ^{ひろいみちあき} 廣井道頭の「江戸独楽」の魅力～^{あまのこうぞう} 天野弘三コレクション～ 令和6年4月2日（火）～7月28日（日）



江戸中期～明治時代にかけて、江戸・東京では江戸っ子好みのしゃれた独楽がたくさん作られていました。これらは江戸独楽といい、ただ回すだけではなく、からくりの仕組みを応用した面白い回転をするものや、特異な意匠を凝らした洒落っ気のあるものなど見て楽しい独楽となっています。このような、飾っても楽しく様々な動きが見られ、形や色彩が美しい独楽は世界でも類を見ません。江戸時代、手が込んだ独楽には度々贅沢禁止令が出されましたが、江戸の職人たちは反骨精神から違反しない独楽を作り続け、千種類をも超える独楽が作られたと伝えられます。

廣井道頭氏（1933-2020）は東京で江戸独楽作りを受け継ぐ廣井家に生まれ、昭和20年より宮城県へ移住し、仙台で活躍をした江戸独楽の作者です。本展では、廣井氏の作品を長年にわたり収集された天野弘三氏（1933-2016）のコレクション約250点をご紹介します。期間中は外国人観光客も多く訪れ、多彩な作品に驚く様子が見られました。

ミニ企画展 ^{みろくかい} 美轡会限定セット

令和6年4月2日（火）～7月15日（月）

美轡会とは、伝統こけし工人の親睦と創作意欲の高揚につとめるため、平成3年に発足した会です。この会による展示会では各地の伝統こけしや木地玩具など様々な作品が展示即売されます。本展では、この会により限定セットで作られた作品をご紹介します。なお、今年は9月末に土湯で最後の美轡展を開催予定になっております。

